

# データエントリーシステムのご紹介

@Canopus

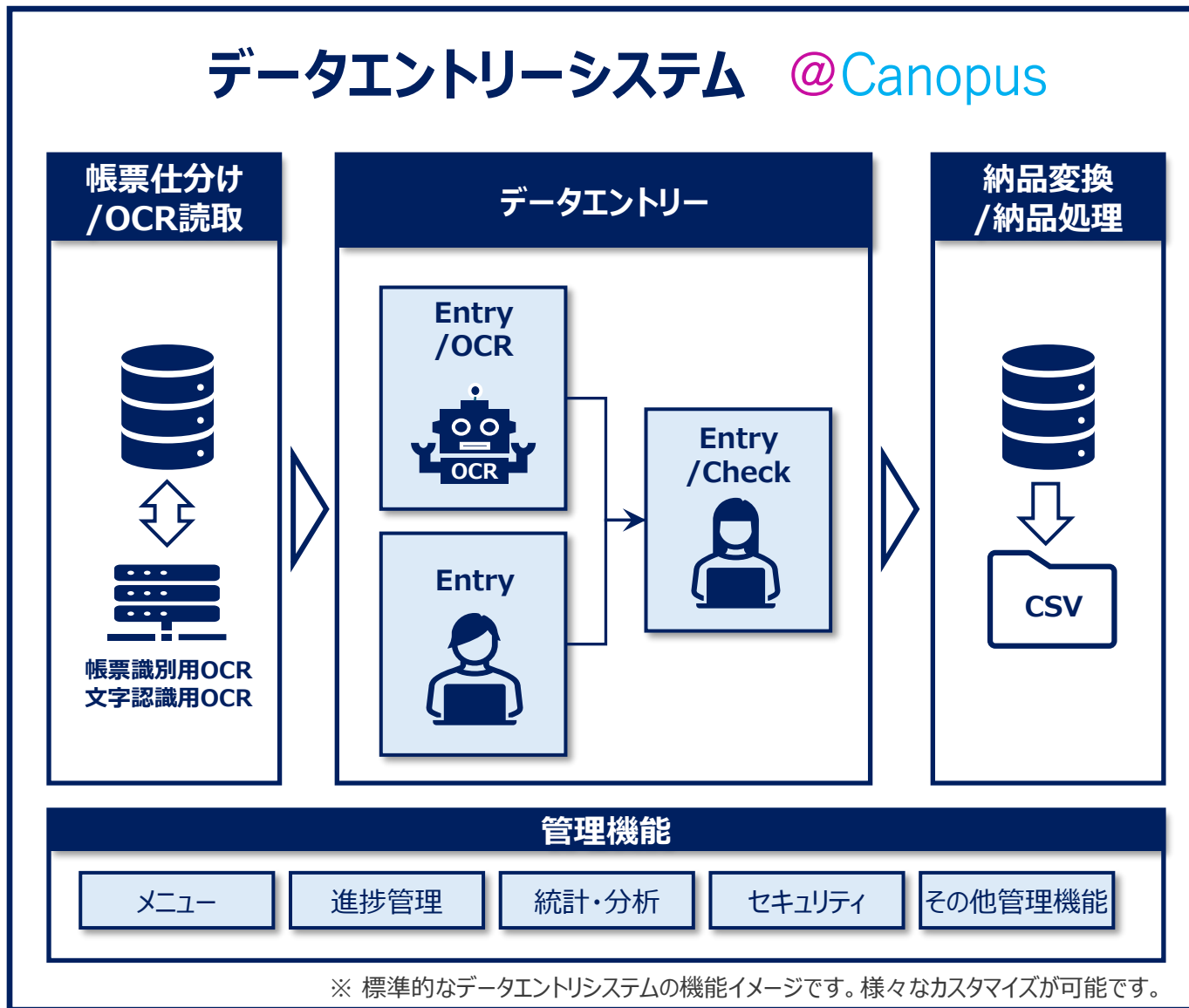
2026.4

## ～オーダーメイド型エントリーシステム～

@Canopusは、カスタマイズが可能な専用フレームワークをベースに構築するデータエントリーシステムです。

デジタル化におけるAI-OCRの活用は必要不可欠になりつつありますが、原票の新設や頻繁な変更など、既製のデータエントリーシステムでは、対応しきれない様々な課題を解決します。

@Canopusを活用することで、AI-OCR時代の大規模データエントリー向けに最適化した唯一無二のデータエントリーシステムが構築できます。

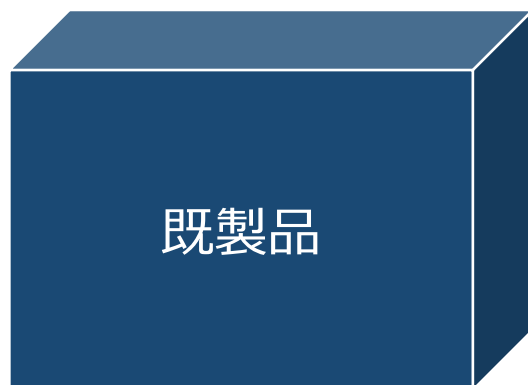


※ 標準的なデータエントリーシステムの機能イメージです。様々なカスタマイズが可能です。

## 既製品から「カスタマイズ可能なフレームワーク」へ

@Canopusは、**利用者が使いやすいようにカスタマイズすることを前提にした開発用フレームワーク**をベースに開発するオーダーメイド型のデータエントリーシステムです。

データエントリー業務に必要なコア機能や部品を標準で装備しながら、お客様の個別ニーズ（対象帳票、多段階フロー、納品仕様）に合わせた柔軟なカスタマイズが可能です。  
ゼロからのスクラッチ開発に比べ、圧倒的な開発スピードを実現します。



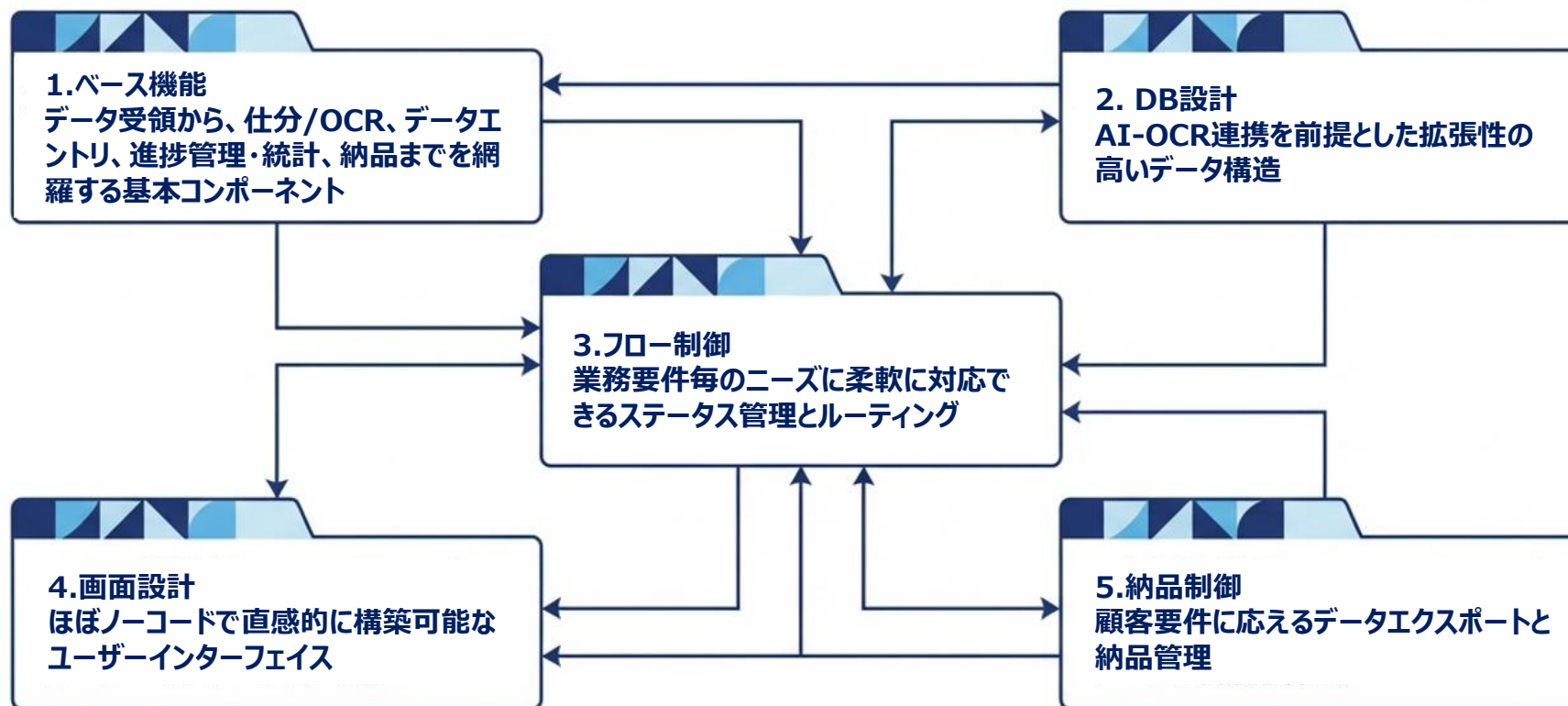
## @Canopus 柔軟なフレームワーク



利用者が合わせるのではなく、  
利用者に合わせたシステム作りが可能

## @Canopusのフレームワークを構成する5つのコアモジュール

データエントリー業務に必要な機能全体をカバーする全体最適化されたアーキテクチャです。  
ベース機能、DB設計、フロー制御、画面設計、納品制御の5つのコアモジュールで構成しています。



## ベース機能：開発作業の効率化するコンポーネント群

データエントリー業務で想定されるあらゆる機能を「部品」として標準提供。  
これらを組み合わせることで、開発作業の効率化を実現します。

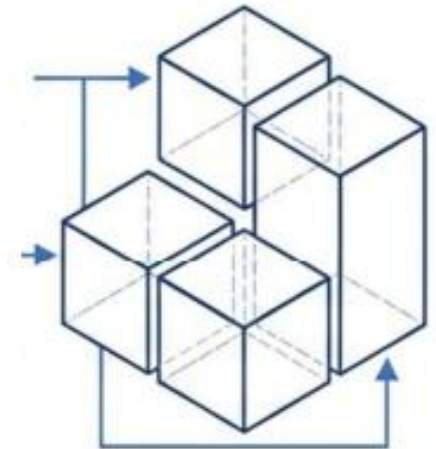
### 主な標準コンポーネント

- ・データ受領/画像加工
- ・仕分け/AI-OCR読取
- ・データエントリー機能
- ・進捗管理/統計・分析
- ・納品変換/納品制御



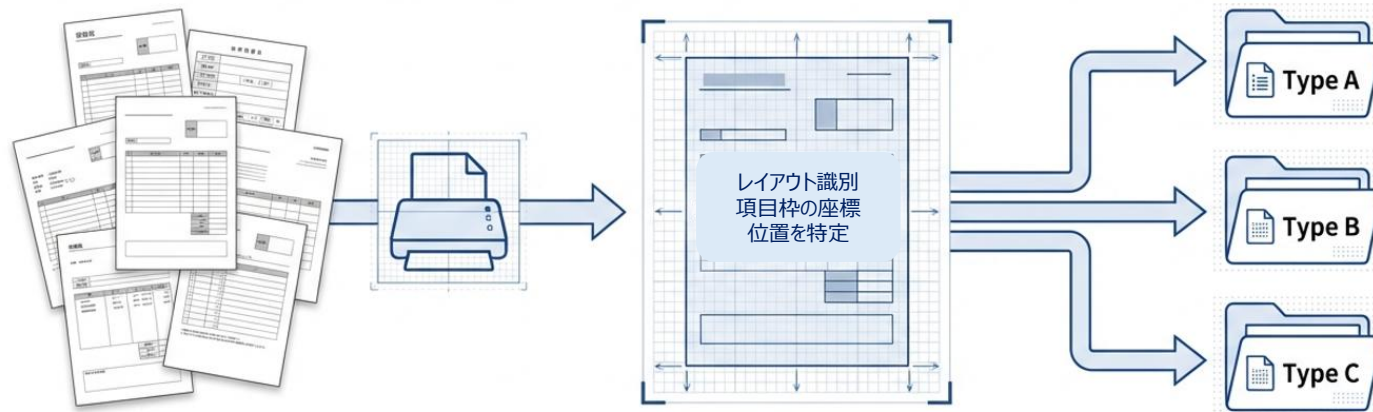
### 汎用性とカスタマイズの融合

- ・進捗管理、統計、品質管理などの個別要望が多い領域は、DB設計と連携した「情報取得SQL」をベースとして提供。
- ・基本情報をDBから抽出しCSVやExcel等のレイアウトで出力可能。利用者のニーズに合わせたカスタマイズが柔軟に対応できます。



## ベース機能：事前仕分けを自動化する高度な帳票識別

複数種類の帳票が存在する業務において、エントリー作業前の「仕分け」プロセスを自動化します。



### 【レイアウト識別】

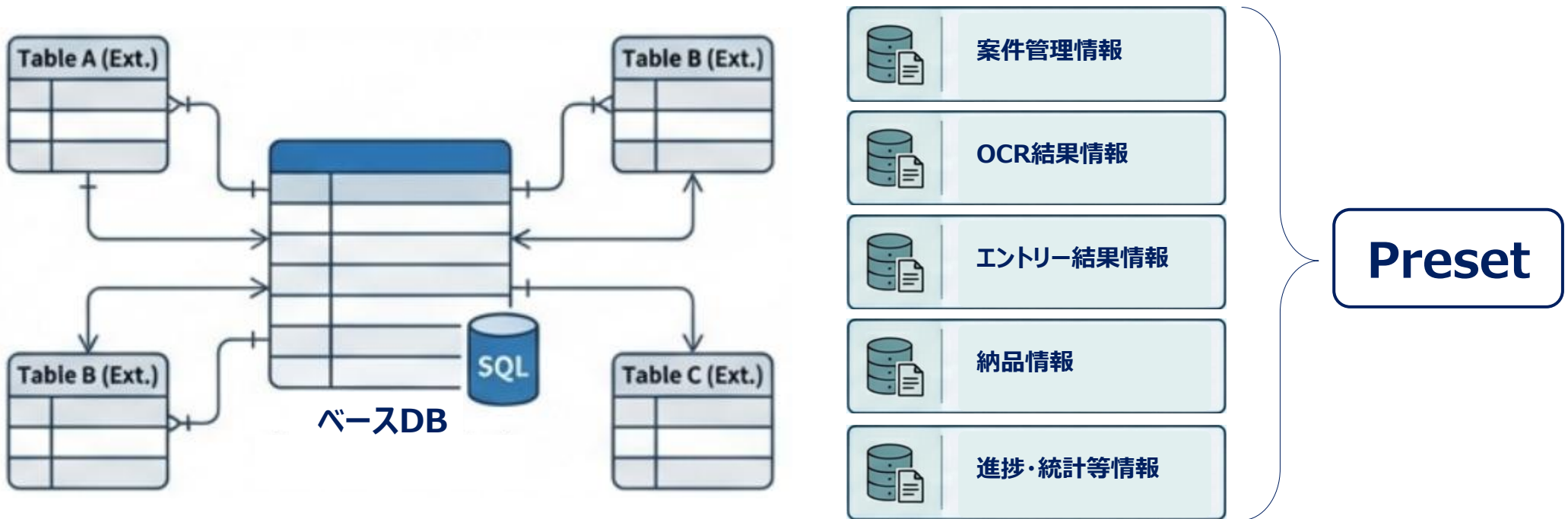
- ・事前に書類の識別子（バーコード等）が設定できない場合に対応。
- ・旧バージョン帳票など、微妙にレイアウトが異なる帳票が混在していても識別可能。

### 【文字認識（OCR）に依存しない確実性】

- ・この機能は文字を読み取るのではなく、「項目枠の座標位置」を特定・比較することで書類の種類を識別します。
- ・これにより、事前に登録されたレイアウト情報との高精度なマッチングを実現します。

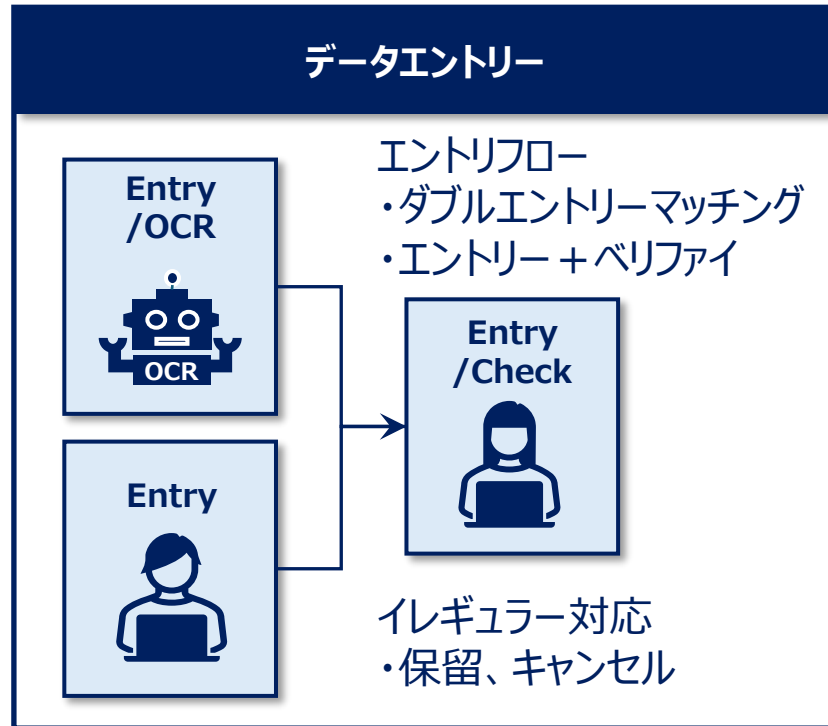
### DB設計：AI-OCR連携を前提としたデータ構造

標準コンポーネントにより、ゼロから設計する必要はありません。  
エントリー業務に必要なTBL・項目は既にベースDBとして設計済のため、DB設計工程の工数を大幅に削減できます。 ※個別案件に必要な項目のみを追加するだけでシステムが構築できます



## フロー制御：あらゆる業務シナリオに対応する柔軟なルーティング

ステータス管理の流れや、OCRと人の役割分担を柔軟に設定し、現場の運用要望に合わせたフロー制御を構築するためのフレームワークを提供します。



### 【多様なエントリーフロー】

- 「ダブルエントリーマッチング」
- 「エントリーベリファイ」
- 「エントリーベリファイ + 再チェック」

### 【イレギュラー対応の標準装備】

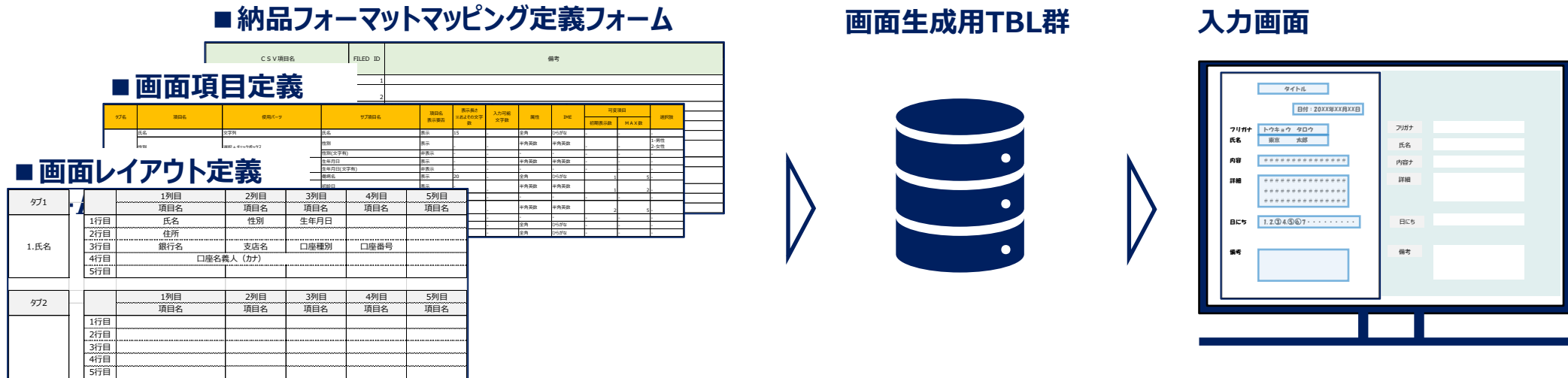
通常のフローに加えて、「保留」や「キャンセル」といった実業務で必ず発生するイレギュラーなフローも標準装備。

### 【高度な分割制御連携】

特定項目のみを切り出した「分割エントリー」の併用可能。セキュリティレベルの高いデータエントリー業務にも対応できます。

## 画面設計：ほぼノーコードで実現できる直感的なUI構築

@Canopusはカスタマイズ可能なデータエントリーシステムですが、「画面設計」においては劇的な簡略化を実現しています。フレームワークの機能により画面生成用TBL群から入力画面を自動生成するため、帳票に合わせた入力画面の製造が短期間で実現できます。



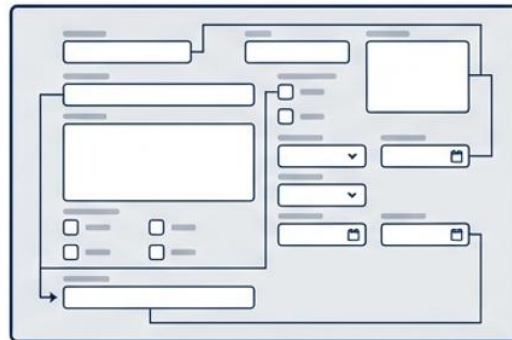
## 画面設計：業務要件に合わせた3つのUI構築方式

対象となる帳票の特性やオペレーターの作業しやすさに合わせて、3つの画面構築方式から最適なものを選択可能です。



### 1.クローン方式

入力帳票の「白紙原票」をエントリー画面の背景画像としてそのまま組み込む方式。直感的な入力が可能。



### 2.オーダーメイド方式

帳票の構造に一致するように、入力項目の配置位置やフラグ項目の追加を細かく設定する方式。



### 3.汎用画面方式

指定した全入力項目を、システム上で単純かつ規則的に配置するスピーディな方式。

### 画面設計：ズレや縮尺違いを吸収する高度な視覚制御

実際の運用現場で発生する「スキャン画像のブレ」にも対応します。  
オペレーターの迷いをなくし、入力スピードと品質を最高水準に保ちます。

#### 【Fitting機能と連携したユーザーサポート】

##### ・ハイライト表示：

スキャンした入力帳票に縮尺違いや印刷の余白設定による「ズレ」が発生した場合でも、該当の入力位置を正確に補正しハイライト表示させることが可能です。

##### ・マスク対応：

セキュリティや個人情報保護の観点から、特定項目を正確な座標でマスク処理することが可能です。



### 納品制御：顧客要件に応えるデータエクスポート

入力結果をそのまま納品するだけの既製品とは異なり、個別要件ごとに異なる複雑な納品仕様にもフレームワークの力で柔軟に対応します。

#### 1件単位の納品



処理が完了したデータから即時納品

#### 「納品束」単位の待ち合わせ制御



特定の束（バッチ）がすべて完了するまで待機し、一括で納品する制御機能を標準装備

#### 【シームレスなデータ連携】

データエントリー画面の部品や、エントリー結果テーブル（DB）と直接連携し、納品データを自在に編集・加工するベース機能を提供します。

これらのベース機能をカスタマイズすることで、独自の納品要件に対する開発効率を最大化します。

最適な技術と手順を選択し、新しい業務プロセスを提案します

***SEKT***

